KENWOOD

パーソナルCDシステム

CR-iP500

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、取扱説明書の
「安全上のご注意」、本文をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。
取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation

Made for iPod　COMPACT disc DIGITAL AUDIO　CD-R/RW PLAYBACK　MP3 WMA

目次

使用上のご注意

設置について

機器を設置するときは、下記のことをお守りください。

- 必ず平らで安定した場所に設置してください。台などの上に設置する場合は、必ず台の強度を確認してください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。
- ラジオ、テレビ、携帯電話の近くで使用すると受信障害の原因となることがありますので、離してお使いください。
- 放熱が十分でないと、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。
  - ・機器の上面に、布をかけたり、放熱を妨げるものを置かないでください。
  - ・機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。
    上面10cm以上、背面10cm以上

お手入れのしかた

汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。
特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、隣り近所への配慮を十分いたしましょう。特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

安全上のご注意

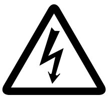
必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

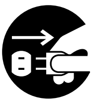
■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

⚠警告

異常のときは

異常が起きた場合は電源プラグを抜く
内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源コード・プラグについて

電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して、火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

設置について

交流 100 ボルトの電圧で接続する
この機器は、交流 100 ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない
水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついたものを置かない
本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

使用について

水をかけたりぬらしたりしない
火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない
感電の原因となります。

お手入れ

電源プラグを定期的に清掃する
電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

⚠注意

異常のときは

落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースが壊れたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

電源コード・プラグについて

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

設置について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

設置について

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湿気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、スピーカーコード、その他接続コード類を全て外す。コードを抜かずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

使用について

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。

機器の内部に異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となることがあります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速に回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池について

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"＋"とマイナス"－"の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 充電池と乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池を直射日光（炎天下）や火のそばなど高温となる場所に置かない

発熱・破裂・発火による火災の原因となります。

⚠注意

音量について

はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴かない
聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

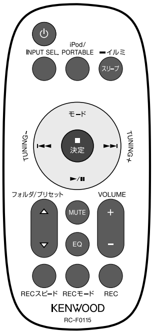
お手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜く
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

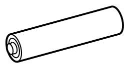
定期的に内部の点検、清掃をする
3 年に 1 度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄のケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

付属品の確認

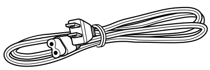
リモコン
(RC-F0115)



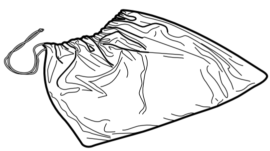
電池
(単四形：1本)



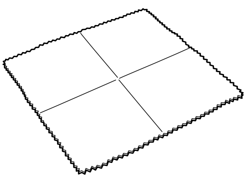
電源コード



保護袋

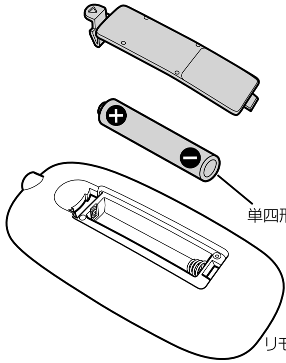


クリーニングクロス



リモコンに電池を入れる

リモコンに電池を入れます。

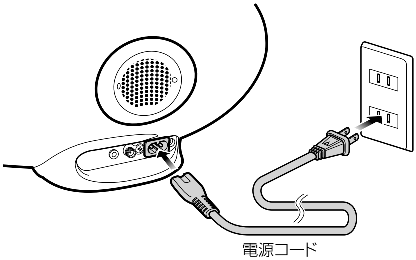


MEMO

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。

電源コードを接続する

本体に電源コードを接続します。

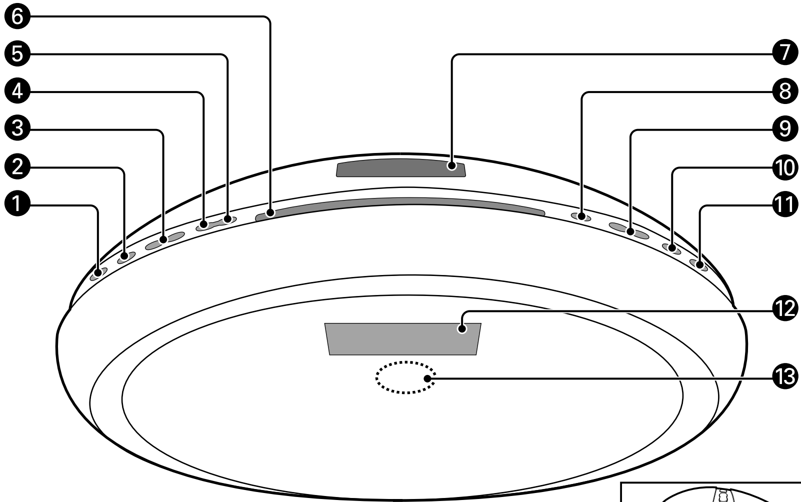


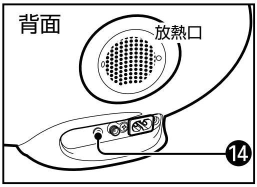
注意

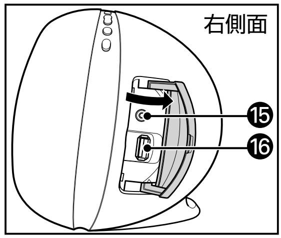
機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

各部の名称とはたらき

本体部







❶● REC
- USB機器への録音を開始します。

❷►/■ MONO/STEREO
- 曲の再生/停止をします。
- FMラジオを聞いているときは、モノラル受信に切り替えてノイズを軽減します。

❸|◄◄ ►►| -TUNING+
- 曲の選択をします。押し続けると曲の早送り/早戻しができます。
- FMラジオを聞いているときは、放送局を切り替えます。

❹CLOCK
- 時刻を3秒間表示します。
  2秒以上押すと時計調整ができます。

❺ALARM
- アラーム機能のオン/オフをします。
  2秒以上押すとアラーム設定ができます。

❻CD挿入口

❼iPod挿入口

❽EJECT ⏏
- CDを取り出します。

❾VOLUME
- 音量を調整します。

❿INPUT SELECTOR
- 音源をFMラジオ➡CD➡USB機器➡iPod➡PORTABLE機器の順に切り替えます。

⓫⏻
- 電源のオン/オフをします。
  2秒以上押すとパワーセーブモード（時計表示が消えます）になります。

⓬ディスプレイ

⓭リモコン受光部

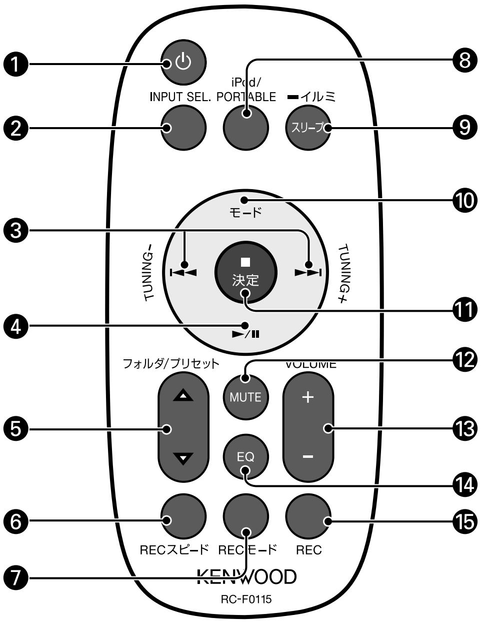
⓮ヘッドフォン端子
- ステレオミニプラグ付きのヘッドフォンを接続できます。

⓯ポータブル機器用ミニプラグ端子

⓰USB端子

本取扱説明書では、本体部のボタンの操作を
「本体：[∗∗∗]を押す。」と説明しています。

リモコン部



❶⏻
● 電源のオン/オフをします。

❷INPUT SEL.
● 音源をFMラジオ➡CD➡USB機器の順に切り替えます。

❸⏮ ⏭
● 曲の選択をします。押し続けると曲の早送り/早戻しができます。
● FMラジオを聞いているときは、放送局を切り替えます。

❹►/❚❚
● 曲の再生/一時停止をします。

❺フォルダ/プリセット
● iPodの曲を検索中に、項目を切り替えます。
● オーディオファイルを聴いているときは、再生するフォルダを選択します。
● FMラジオを聞いているときは、放送局のメモリー番号を選択します。

❻RECスピード
● 録音スピードを1倍速または2倍速に切り替えます。

❼RECモード
● 録音ビットレートを4種類の中から選択できます。

❽iPod/PORTABLE
● 音源をPORTABLE機器またはiPodに切り替えます。

❾イルミ　スリープ
● スリープタイマーとライトモードの設定状態になります。

❿モード
● 再生中にプレイ機能を選択します。
● iPodの曲を検索中は、前のメニューに戻ります。

⓫■　決定
● 曲の再生を停止します。
● iPodの曲を検索中に項目を決定します。
● FMラジオを聞いているときは、放送局をメモリーします。

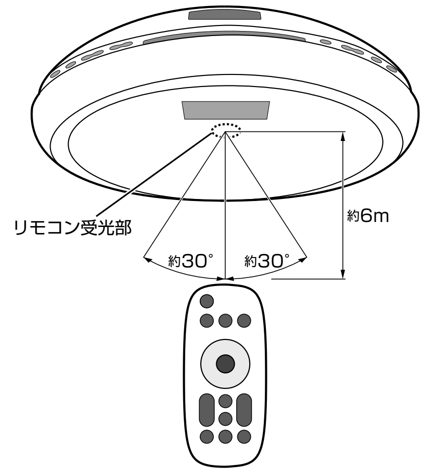
⓬MUTE
● 音量を素早く小さくします。もう一度押すと元の音量に戻ります。

⓭VOLUME
● 音量を調整します。

⓮EQ
● 音質を4種類（FLAT、POP、CLASSIC、JAZZ）の中から選択します。

⓯REC
● USB機器への録音を開始します。

MEMO
● リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。
● リモコンは以下の範囲で使用可能です。



本取扱説明書では、リモコン部のボタンの操作を「リモコン：[***]を押す。」と説明しています。

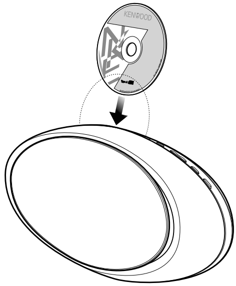
CDの聞きかた

CDの曲を聞く

1. 電源をオンにします

本体 リモコン : [⏻]を押す。

2. CDを挿入します



レーベル面を手前にして、挿入口の中央に挿入します。

3. 音源をCDにします

本体 : [INPUT SELECTOR]を押す。

リモコン : [INPUT SEL.]を押す。

トラック/演奏時間表示や"CD　READ"と表示されるまで押します。

4. 再生を開始します

本体 : [►/■]を押す。

リモコン : [►/II]を押す。

5. 再生を停止します

本体 : [►/■]を押す。

リモコン : [■ 決定]を押す。

[►/■]または[►/II]を押すと再生が始まります。

6. CDを取り出します

本体 : [⏏]を押す。

プレイモードの選択のしかた

1. プレイモードを選択します

リモコン : [モード]を押す。

押すたびに"RPT　1"(1曲リピート)➡"RPT　ALL"(全曲リピート)➡"RANDOM"(ランダムプレイ)➡"OFF"(プレイモードオフ)の順に切り替わります。

MEMO

- 曲の選択や早送り/早戻しなどについては「各部の名称とはたらき」(10ページ)をご覧ください。
- 本機で再生できるオーディオファイルについては、「オーディオファイルについて」(18ページ)をご覧ください。

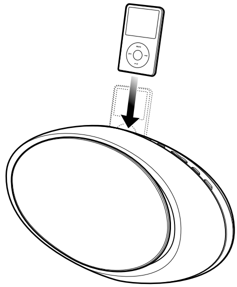
iPodの聞きかた

iPodの曲を聞く

1. 電源をオンにします

本体 リモコン : [⏻]を押す。

2. iPodを本機に取り付けます



3. 音源をiPodにします

本体 : [INPUT SELECTOR]を押す。

リモコン : [iPod/PORTABLE]を押す。

"IPOD"と表示されるまで押します。

4. 再生を開始します

本体 : [►/■]を押す。

リモコン : [►/II]を押す。

5. 再生を停止します

本体 : [►/■]を押す。

リモコン : [►/II]を押す。

[►/■]または[►/II]を押すと再生が始まります。

iPodメニューの選択のしかた

■ メニュー項目のスクロール

リモコン : [フォルダ/プリセット]を押す。

■ メニュー項目の決定

リモコン : [■ 決定]を押す。

■ 前のメニュー項目に戻る

リモコン : [モード]を押す。

MEMO

- iPodの取り付けが不完全な場合やiPodの充電が不十分なときは"ERROR"と表示されます。iPodの取り付けや電池の状態を確認してください。
- 曲の選択や早送り/早戻しなどについては「各部の名称とはたらき」(10ページ)をご覧ください。
- iPodを本機に取り付けている間は、iPodへの充電が行われます。

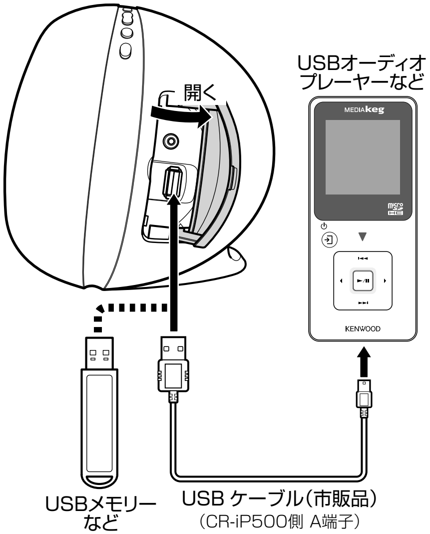
USB機器の聞きかた

USB機器の曲を聞く

1. 電源をオンにします

本体 リモコン : [⏻]を押す。

2. USB機器を本機に取り付けます



3. 音源をUSB機器にします

本体 : [INPUT SELECTOR]を押す。

リモコン : [INPUT SEL.]を押す。

"USB"と表示されるまで押します。

4. 再生を開始します

本体 : [►/■]を押す。

リモコン : [►/II]を押す。

5. 再生を停止します

本体 : [►/■]を押す。

リモコン : [■ 決定]を押す。

[►/■]または[►/II]を押すと再生が始まります。

6. USB機器を取り外します

本体 : [INPUT SELECTOR]を押してから取り外します。

リモコン : [INPUT SEL.]または[iPod/PORTABLE]を押してから取り外します。

音源を"USB"以外にしてからUSB機器を取り外します。

プレイモードの選択のしかた

1. プレイモードを選択します

リモコン : [モード]を押す。

押すたびに"RPT　1"(1曲リピート)➡"RPT　ALL"(全曲リピート)➡"RANDOM"(ランダムプレイ)➡"OFF"(プレイモードオフ)の順に切り替わります。

MEMO

- 曲やフォルダの選択、早送り/早戻しなどについては「各部の名称とはたらき」(10ページ)をご覧ください。
- USB機器を取り外すときは、必ずUSB以外の音源にしてしてください。
- 本機で使用するオーディオファイルはバックアップをしてください。USB機器の使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 接続したメモリカードリーダに複数のメモリーカードが挿入されている場合は、本機が最初に認識したメモリーカードのみが再生対象となります。
- USBハブを介してUSB機器を認識させることはできません。
- 本機で再生できるオーディオファイルについては、「オーディオファイルについて」(18ページ)をご覧ください。

FMラジオの聞きかた

FMラジオを聞く

1. 電源をオンにします

本体 リモコン : [⏻]を押す。

2. 音源をFMラジオにします

本体 : [INPUT SELECTOR]を押す。

リモコン : [INPUT SEL.]を押す。

周波数が表示されるまで押します。

3. 放送局を切り替えます

本体 : [⏮ ⏭]を押す。

リモコン : [⏮ ⏭]を押す。

1回押すと周波数が1ステップ切り替わります。
押し続けると放送局が受信できる周波数まで自動的に切り替わります。

放送局をメモリーする

1. メモリーしたい放送局を受信します

本体 : [⏮ ⏭]を押す。

リモコン : [⏮ ⏭]を押す。

2. メモリーを開始します

リモコン : [■ 決定]を押す。

メモリー番号が点滅表示されます。
3秒間操作をしないとメモリー状態は自動的に解除されます。

3. メモリー番号を選択します

リモコン : [フォルダ/プリセット]を押す。

4. メモリーを実行します

リモコン : [■ 決定]を押す。

30局までメモリーできます。

メモリーした放送局を呼び出す

1. メモリー番号を選択します

リモコン : [フォルダ/プリセット]を押す。

選択した番号にメモリーされている放送局を受信します。

メモリーした放送局をすべて消去する

1. 消去を開始します

リモコン : [■ 決定]を2秒以上押す。

"ERASE"と表示されます。
3秒間操作をしないとメモリー消去状態は自動的に解除されます。

2. 消去を実行します

リモコン : [■ 決定]を押す。

MEMO

● モノラル受信への切り替えかたは「各部の名称とはたらき」（10ページ）をご覧ください。

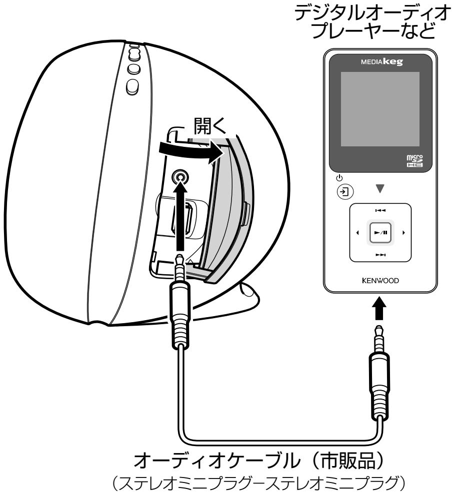
ポータブル機器の聞きかた

ポータブル機器の曲を聞く

1. 電源をオンにします

本体 リモコン : [⏻]を押す。

2. ポータブル機器を本機に接続します



3. 音源をポータブル機器にします

本体 : [INPUT SELECTOR]を押す。

リモコン : [iPod/PORTABLE]を押す。

“PORTABLE”と表示されるまで押します。

4. 再生を開始します

ポータブル機器側で再生操作を行います。

録音のしかた

USB機器に録音する

FMラジオ、CD、ポータブル機器の音源を、MP3ファイルに変換してUSB機器に保存します。

1. 録音する音源に切り替えます

本体 : [INPUT SELECTOR]を押す。

リモコン : [INPUT SEL.]または[iPod/PORTABLE]を押す。

音源にFMラジオ、CD、またはポータブル機器を選択します。

2. 録音ビットレートを設定します

本体 : [● REC]を3秒以上押す。次に[|◀◀ ▶▶|]を押して録音ビットレートを選択する。

リモコン : [RECモード]を押す。

押すたびに録音ビットレートが“256kbps”➡“192kbps”➡“128kbps”➡“96kbps”の順に切り替わります。
256kbpsまたは192kbpsに設定したときは、録音スピードは「1倍」に固定されます。

3. 録音スピードを設定します（音源がCDのときのみ）

本体 : [● REC]を3秒以上押し、もう一度[● REC]を押す。次に[|◀◀ ▶▶|]を押して録音スピードを選択する。

リモコン : [RECスピード]を押す。

押すたびに録音スピードが“x 1”（1倍）と“x 2”（2倍）に切り替わります。
2倍に設定した場合は録音中の音声を聞くとはできません。また、設定できる録音ビットレートは96kbpsと128kbpsのみとなります。

4. 録音する音源の準備をします

FMラジオは録音したい放送局を受信します。
CDは録音したいCDを挿入します。特定の曲のみ録音したい場合は、[|◀◀ ▶▶|]で録音する曲を選択しておきます。
ポータブル機器は本機に接続し、録音したいポイントにしておきます。

5. 録音を開始します

本体 : [● REC]を押す。

リモコン : [REC]を押す。

録音を一時停止するには…

本体 : [● REC]を押す。

リモコン : [REC]を押す。

録音が一時停止します。
もう一度押すと録音が再開します。

6. 録音を停止します

本体 : [▶/■]を押す。

リモコン : [■ 決定]を押す。

録音のしかた(続き)

MEMO

- 録音されたファイルは以下の名称のフォルダおよびファイルでUSB機器に保存されます。
  FMラジオ/ポータブル機器を録音したファイル
  フォルダ名：“EXT_REC”
  ファイル名：“AUDIO_###.mp3”
  CDを録音したファイル
  フォルダ名：“CD_REC”
  ファイル名：“TRK_###.mp3”
  “###”は“000”から自動的に連番が付けられます。
- FMラジオおよびポータブル機器の音源から録音した場合は、録音を開始から停止するまで１つのファイルとして保存されます。
- コピー禁止CDを録音しようとすると“PROTECT”と表示され録音ができません。

イルミネーションの設定

ライトモード設定

本体照明とディスプレイの明るさを設定します。

1. ライトモード設定を開始します

   リモコン：[スリープ]を2回押す。

   “LIGHT”表示がされます。
   3秒間操作をしないとライトモード設定状態は自動的に解除されます。
   スリープタイマーを“SLP　OFF”に設定していないときは、設定した効果を見ることができません。

2. ライトモードを設定します

   リモコン：[I◀◀　▶▶I]を押す。

   “L--1”（本体照明:点灯、ディスプレイ:明）➡“L--2”（本体照明:点灯、ディスプレイ:暗）➡“L--OFF”（本体照明:消灯、ディスプレイ:明）の順に切り替わります。

時計の設定

時計調整

1. 電源をオンにします

本体 : [⏻]を押す。

2. 時計調整を開始します

本体 : [CLOCK]を2秒以上押す。

3秒間操作をしないと時計調整状態は自動的に解除されます。

3. 12時間/24時間表示設定をします

本体 : [⏮ ⏭]を押す。

"12HR"(12時間表示)または"24HR"(24時間表示)を選択します。

4. 時間調整を開始します

本体 : [CLOCK]を押す。

時間表示が点滅します。

5. 時間を設定します

本体 : [⏮ ⏭]を押す。

6. 分調整を開始します

本体 : [CLOCK]を押す。

分表示が点滅します。

7. 分を設定します

本体 : [⏮ ⏭]を押す。

8. 時計調整を終了します

本体 : [CLOCK]を押す。

スリープタイマー

設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。

1. スリープタイマー設定を開始します

リモコン : [スリープ]を押す。

"SLP ##"表示がされます。
3秒間操作をしないとスリープタイマー設定状態は自動的に解除されます。

2. 電源がオフになるまでの時間を設定します

リモコン : [⏮ ⏭]を押す。

"SLP OFF"(スリープタイマーオフ)、"SLP 10"(10分後にオフ)～"SLP 90"(90分後にオフ)から選択します。
"SLP 10"～"SLP 90"を選択中は、ディスプレイが暗くなります。

アラーム設定

設定した時刻に本機の電源が自動的にオンになり再生を始めます。

1. アラーム設定を開始します

本体 : [ALARM]を2秒以上押す。

3秒間操作をしないとアラーム設定状態は自動的に解除されます。

2. アラーム音源を選択します

本体 : [⏮ ⏭]を押す。

押すたびに音源が"FM"(FMラジオ)↔"CD"↔"USB"(USB機器)の順に切り替わります。

3. アラーム時間の設定を開始します

本体 : [ALARM]を押す。

時間表示が点滅します。

4. アラーム時間を設定します

本体 : [⏮ ⏭]を押す。

5. アラーム分の設定を開始します

本体 : [ALARM]を押す。

分表示が点滅します。

6. 分を設定します

本体 : [⏮ ⏭]を押す。

7. アラーム音量の設定を開始します

本体 : [ALARM]を押す。

音量表示が点滅します。

8. アラーム音量を設定します

本体 : [⏮ ⏭]を押す。

9. アラーム設定を終了します

本体 : [ALARM]を押す。

アラーム機能がオンになり◷インジケーターが点灯します。
アラーム機能は[ALARM]を押すたびにオン/オフします。オンにしたときはアラーム設定内容（音源、時刻、音量）が表示されます。

10. 電源をオフにします

本体 : [⏻]を押す。

MEMO

- アラーム機能が動作中に[ALARM]または[CLOCK]を押すと一時停止状態になります(SNOOZE状態)。SNOOZE状態のまま5分間経過すると再び再生が始まります。
- アラーム機能が働き出してから5分間操作をしないと、アラーム機能は自動的にオフになります。
- 時計調整が終了していないと、アラーム機能は使用できません。

CDをロックする

本機に挿入したCDを取り出せないように、ロックをかけることができます。

ロックのかけかた

本体の[►/■]を５秒以上押します。

“LOCK ON”と表示され、[⏏]を押してもCDが排出されません。

ロックの解除のしかた

本体の[►/■]を５秒以上押します。

“LOCK OFF”と表示され、[⏏]を押すとCDが排出されます。

オーディオファイルについて

本機では以下のメディア・USB機器に収録されたオーディオファイルが再生できます。

ディスクメディア

CD-R, CD-RW, CD-ROM

ディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1, 2, 3

USB機器

USBマスストレージクラス

USB機器フォーマット

FAT12, FAT16, FAT32

オーディオファイルフォーマット

MP3 (.mp3), WMA (.wma)

サンプリング周波数

MP3：8, 44.1, 48 kHz
WMA：32 ～ 48 kHz

ビットレート

MP3：8 ～ 320 kbps
WMA：48 ～ 320 kbps

最大曲数

999曲（1000曲以上収録したディスク、USB機器は正常に再生できません）

最大フォルダ数

99（フォルダが100以上あるディスク、USB機器は正常に再生できません）

DRM（デジタル著作権管理）で保護されたオーディオファイルは再生できません。
また、これらの規格・仕様に準拠したメディア、USB機器、フォーマットであっても、HDDなど電源容量が大きな機器や、ファイルの状態などにより正常に使用できない場合があります。

> 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
> 従って、それらから録音したものを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
> 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

本機で使用できるiPod

本機には以下のiPodを取り付け、曲を聞くことができます。

- iPod touch 第1世代、第2世代
- iPod nano 第1世代、第2世代、第3世代、第4世代
- iPod classic
- iPod video (iPod 第5世代)/ U2 iPod video
- iPod 第4世代/ U2 iPod（クイックホイール）
- iPod mini

「Made for iPod」とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPodは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

本機の保管とお手入れ

次のような場所に置かないでください

- 直射日光の当たる場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 暖房器具の熱が直接当たる場所。

結露にご注意ください

- 本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象が起きたときは、本機が正常に動作しない場合があります。このような場合は、数時間放置し、乾燥させてから使用してください。
- 気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露に注意してください。

汚れたときは

- 前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きします。シンナー、ベンジン、アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因となるため、使用してないでください。
- レンズクリーナーは使用しないでください。

CDの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 再生面にふれないように持ってください。
- ディスクアクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）は使わないでください。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使わないでください。
- 紙やシール、ラベルを貼らないでください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。

本機で使用できるディスクについて

- CD（12cm、8cm）、CD-ROM、CD-R、CD-RW、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。
- 8cm CDアダプターは使用できません。

CD-ROM/CD-R/CD-RWディスクについて

- レーベル面に印刷可能なCD-ROM、CD-R、CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができなくなることがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

CDディスクのご注意

- のマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。
- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
- 円形以外の形をしたディスクは、故障の原因となるため、使用しないでください。
- CDを引き込む動作は、光学的に検知をして行われます。このため、透明なCDは差し込まれたことを認識することができず、使用することができません。

CDの保管について

- 長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CDが汚れたときは

- ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで、放射状に軽く拭き取ってください。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

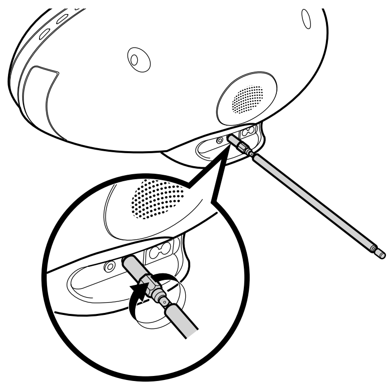
故障かな？と思ったら

思ったとおりに操作できないなど故障と思われるような症状が発生したときは、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてください。

症状	原因/対応
音が出ない	音量を大きくする。（10ページ）
	MUTE機能をオフにする。（11ページ）
	ヘッドフォンのプラグを抜く。（10ページ）
	電源コードを正しく接続する。（9ページ）
時刻が表示されない	時計を調整する。（16ページ）
CDが再生できない	レーベル面を手前にして入れる。（12ページ）
	CDの汚れを拭き取る。
	本機で再生できないオーディオファイルが収録されている。（18ページ）
CDが取り出せない	本体の**[►/■]**を５秒以上押して、CDロックを解除します。（18ページ）
USBが再生できない	本機で再生できないオーディオファイルが収録されている。（18ページ）
FMラジオが受信できない	アンテナの取り付けがゆるんでいないか確認する。（下記参照）
リモコンで操作できない	電池を交換する。（9ページ）
iPodが認識されない	iPodを取り外し、再度取り付ける。（12ページ）
	iPodの充電をしてから取り付ける。（12ページ）

アンテナの取り付けがゆるんでいるときは

アンテナがグラつくときなど、取り付けがゆるんでいる場合は、アンテナを時計回し方向に増し締めします。



定格

[アンプ部]

実用最大出力……………………5 W + 5 W（JEITA 、6 Ω）
入力端子（感度／インピーダンス）
PORTABLE IN ……………………… 380 mV / 6.8 kΩ

[FMチューナー部]

受信周波数範囲………………………… 76 MHz ～ 90 MHz
アンテナインピーダンス……………………… 75 Ω不平衡

[USB部]

対応USB機器 ………… USBマスストレージクラスデバイス
インターフェイス…… USB2.0 (Full speed) USB 1.1互換
ファイルシステム……………………………FAT 12/ 16/ 32
供給電流……………………………………………… 最大500 mA

[CDプレーヤー部]

読み取り方式 ....非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
D/Aコンバーター ....1 ビット
オーバーサンプリング.................................8 fs (352.8 kHz)

[録音フォーマット（USB部）]

録音フォーマット...MP3
ビットレート ....256/192/128/96 kbps
サンプリング周波数..................................44.1 kHz STEREO

[再生フォーマット（CD/USB部）]

MP3
拡張子 mp3
MP3対応規格.........................MPEG-1/ 2 Audio Layer-3
ビットレート（CBR/VBR*)....................... 8 ～ 320 kbps
サンプリング周波数.. 8 ～ 48 kHz
チャンネル 2ch, 1ch
(Stereo, Joint Stereo, Dual Channel, Single Channel)
WMA
拡張子 .... .wma
WMA対応規格....Windows Media Audio 9、DRM非対応
ビットレート（CBR/VBR*)..................... 48 ～ 192 kbps
サンプリング周波数................................32, 44.1, 48 kHz
チャンネル ....2ch, 1ch (Stereo/ MONO)
最大フォルダ数...99
最大ファイル数...999

[スピーカー部]

スピーカーユニット................................... フルレンジ 80 mm

[電源・その他]

定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示)......................23 W
待機時消費電力
電源オン時 ....約6 W
電源オフ時 ....約3 W
パワーセーブモード時..1 W以下
最大外形寸法 ....幅 371 mm
高さ 187 mm
奥行 175 mm
質量（重量)..2.9 kg(正味)

*VBRのオーディオファイルデータは、上記ビットレートの範囲外になるときがあり、再生できない場合があります。

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できない場合があります。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

保証とアフターサービス

保証書

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（お問い合わせ先は、「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。）

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従ってお調べいただき、なお異常がある時は製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後６年保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンターが修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

技術料：

製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

部品代：

修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

送　料：

郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ケンウッド全国サービス網

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

2008年10月現在

北海道			
札幌サービスセンター	〒 007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎ (011) 743-7740
東北			
仙台サービスセンター	〒 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町8-1(斎喜センタービル1F)	☎ (022) 288-3538
関東・信越			
さいたまサービスセンター	〒 330-0801	さいたま市大宮区土手町1-2(JA 共済埼玉ビル1F)	☎ (048) 647-6818
千葉サービスセンター	〒 277-0081	柏市富里1-2-1	☎ (04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〒 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
新潟サービスセンター	〒 950-0923	新潟市中央区姥ケ山1-5-37	☎ (025) 287-7736
目黒サービスセンター	〒 153-0042	目黒区青葉台3-17-9	
(修理持込専用窓口) 電話でのお問合せはカスタマーサポートセンターにて承ります。			
中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〒 462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎ (052) 917-2550
静岡サービスセンター	〒 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〒 920-0036	金沢市元菊町21-87	☎ (076) 265-5045
近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒 532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8075
高松サービスセンター	〒 760-0068	高松市松島町3-1	☎ (087) 835-2413
中国			
広島サービスセンター	〒 731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎ (082) 832-2210
九州			
福岡サービスセンター	〒 815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎ (092) 551-9755
鹿児島サービスセンター	〒 890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎ (099) 251-6347
沖縄サービスセンター	〒 901-2101	浦添市西原4-36-17(株)物琉2F	☎ (098) 874-9010

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00 ～ 18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

カスタマーサポートセンター

■ 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133　　FAX 045-933-5553

受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00

土曜　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日～金曜日　**9:30 ～ 18:00**
土曜日　**9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30**
※日曜、祝日及び当社休日を除く

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-010-114

※一般電話･公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-933-5133**
- FAX　**045-933-5553**

ホームページのサポート情報について

製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。
http://www.kenwood.co.jp/faq/

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「**ケンウッド全国サービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒 192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3